

市民と議会を結ぶ架け橋

# 上野原市 議会だより

No.84

令和8年  
2月発行

12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人  
上野原高校のみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
議長新年のあいさつ	4
議会改革・活性化のあゆみ	4
定例会で決まった主なこと	6
議決結果等一覧表	8
会期中の審査	9
一般質問	10
閉会中の委員会活動	15
市民の声	16



Movie



HP

## うえのはらで頑張る人 Vol.37

### 県立上野原高校のみなさん



私たちが住む上野原には県立上野原高校があります。昭和54年に開校し、市内はもとより県内外へ多くの有能な人材を輩出しています。より多くの市民の方に上野原高校について知っていただきたいと思い、取材に伺いました。

私の描く夢が上高にある

#### 学校生活の魅力や活動は

吹奏楽部に入っていますが、学業だけでなく、音楽を通じて同じ目標に向かい、皆と一体感を得られるところなんです。仲間の大切さを実感することができました。今年は何回も大会に出場し金賞を受賞、西関東大会に出場しました。



興譲館高校と合同で県

生徒会役員をしています。日々の挨拶や清掃とか地道な活動が学校全体のいい雰囲気をつくると思っています。また学園祭のまとめ役もやって、友達から楽しかったよ、かっこ良かったよって言ってもらった時は本当に嬉しかったです。



総合学科を選択したのは、中学生の時は将来をまだあまり考えてなく、上野原高校はキャリア教育に力を入れていると聞いたからです。

たので、自分の興味や幅広い分野を学べることで選びました。学校生活は充実しています。



### 『推しポイント』は

■ キャリア教育に力を入れていて、自分に合ったプランを選択できます。

■ 少人数授業でわかりやすく教えてくれます。



「夢を実現する力を、ここで育てる」



上野原高校は、緑豊かな環境で落ち着いて学べる学校です。きめ細やかな指導で学力と人間力を育み、進路や夢に向けたサポート体制も万全。将来の夢を見つけ、実現するための多彩なプログラムを用意しています。少人数教育で丁寧に寄り添いながら、進路相談や実践的な学びを通して、安心して挑戦できる環境がここにあります。

校長 秋山 すみ江

生徒会が主体となり、全校生徒の意見を聴いた行事がいくつもあります。

■ 高校生活の中で、将来の夢を見つけることができます。



### 市の好きなところは

■ 市民の方がフレンドリーで挨拶してくれます。

■ 自然豊かで、のどかな風景が広がっているところ。

■ 明るく接してくださる方が多く、幸せにあふれた雰囲気が好きです。



### これをお願いしたい

■ 駅に行く道が暗いので、街灯を増やしてほしい。

■ 駅から学校までのバスを出してほしい。下校時に通常診療で診てもらえる病院があればいいと思います。

■ 街中に高校生が入れるファミレスなど飲食店などがほしい。

■ 放課後安心して過ごせる場所があればいいですね。

### インタビューを受けて

■ 自分たちで発信できる場が少ないので、貴重な体験でした。上野原高校の魅力が伝わればうれしいです。

■ 不安な気持ちもありましたが、優しく質問をされたので、楽な気持ちで受けることができました。

■ 高校生活のやりがいやきっかけを話すことで、中学校の時代を思い起こすことができました。

■ 地元に貢献できるような関わっていいことと思えました。



### 取材を終えて

上野原高校の校訓は「叡知創造」です。この夢を叶える総合学科に学ぶ生徒の皆さんから、高校生活のお話を伺うことができました。様々なプログラムの体験を通して、夢を見つけ、育み、実現する「キャリア教育」にしっかりと取り組んでいる状況が覗えました。市議会や行政に対しての貴重な意見や要望もいただき、今後の課題と受け止めました。

# 新春のご挨拶

議長 八木 一雄

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より市政ならびに市議会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価高騰への対応や地域経済の回復、そして災害への備えなど、多くの課題に直面しました。市議会では、生活に密着した施策の検証と提言に努め、予算・決算の審査や常任委員会での議論を重ねて参りました。特に、子育て支援や高齢者福祉、教育環境の充実、公共施設の安全対策、地域交通の確保など、将来を見据えた取り組みを進めております。

本年は、人口減少と地域の活力維持という大きなテーマに正面から取り組みます。暮らしの安心を支える医療・防災体制の強化、デジタルの活用による行政の効率化、地場産業や観光の振興、環境に配慮したまちづくりを、市民の皆さまの声を丁寧に向いながら着実に進めてまいります。また、開かれた議会の実現に向け、議会だよりや本会議のYouTubeでの録画配信、傍聴の案内等による情報発信を一層充実させ、分かりやすく説明責任を果たしてまいります。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸、そして本市のさらなる発展を心より祈念申し上げますとともに、本年も、上野原市議会への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

## 議会改革・活性化のあゆみ

上野原市議会では、平成29年6月に議会活性化検討特別委員会を設置し、議会改革の本格的推進を始めました。この間2回の改選がありましたが、その度に議会活性化特別委員会を設置してきました。令和4年12月には、議会基本条例を制定し、市民に開かれた議会、市民の意見を取り入れる双方向の活動を目指してきました。

今号では、これまでの上野原市議会の議会改革・活性化の取り組み及び「市民と議会を結ぶ架け橋」となる議会だよりについてご紹介します。

### 1 議会運営に関わる改革・活性化の取り組み

- ・平成29年 6月 議会活性化検討特別委員会を設置
- ・令和 4年 4月 本会議のYouTubeによるインターネット配信
- ・令和 4年12月 「上野原市議会基本条例」制定
- ・令和 6年 2月 議会だより編集常任委員会の定数を6名から7名へ増員
- ・令和 6年 9月 ペーパーレス化をめざし議会タブレット端末導入
- ・令和 7年 6月 一般質問について質問時間（答弁を除く）25分とする
- ・令和 7年10月 議会だより編集常任委員会から広報広聴常任委員会に改編

# 議会改革・活性化のあゆみ

## 2 議員定数の削減

- ・平成19年 2月 34人から20人へ
  - ・平成23年 2月 20人から18人へ
  - ・平成27年 2月 18人から16人へ
  - ・令和 5年 2月 16人から14人へ
- 年月は改選時



高校生の傍聴

## 3 市民と議会との意見交換会

コロナ禍の中で中断しましたが、市民と議会の意見交換会の取り組みを行っています。

- ・平成30年 1月 上野原市議会・区長会の意見交換会開催
- ・令和 元年11月 市議会と市民の意見交換会開催
- ・令和 6年 2月 市民と議会との意見交換会開催



意見交換会

## 4 議会だよりの誌面、内容の充実

市民の皆さんの活動を広く紹介し、議会をより身近に感じていただくため、平成29年2月号（No.48）より特集「うえのはらで頑張る人」がスタートしました。

子育てサロン、学校、サークル、消防団、ボランティア団体等、これまで市内の37団体を取材させていただきました。議員が直接現場へ足を運び、お話を伺うなど、取材と記事作成は議員自らが行っています。

- ・平成27年 7月 一般質問の欄に写真・イラストを載せる
- ・平成28年 6月 高校生による初めての傍聴、特別企画を組む
- ・平成28年11月 議会だよりの次議会の予定をカレンダー方式に変更
- ・平成29年 2月 特集「うえのはらで頑張る人」がスタート  
一般質問の字数を削減
- ・平成29年 3月 一般質問傍聴時の託児サービス導入
- ・平成29年 5月 5月号、11月号を20ページ建に変更

ここから特集が始まる



特集の取材



最優秀賞を受賞した号



## 山梨県広報コンクールで表彰

- ・平成29年2月号 平成29年度山梨県広報コンクール  
No.48 議会広報紙部門 奨励賞受賞
- ・平成30年5月号 平成30年度山梨県広報コンクール  
No.53 山梨県知事賞 最優秀賞受賞
- ・令和 6年2月号 令和6年度山梨県広報コンクール  
No.76 議会広報紙部門 奨励賞受賞

# 12月定例会

## 定例会で決まった 主なこと

令和7年第4回定例会が11月26日から12月

12日まで17日間の日程で開かれました。

### 審議された議案

#### 市長提出議案

市長提出議案	17件
発議	1件
計	18件

※議案名・議決結果等は8ページをご覧ください。

議案第96号

上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について

## 条例改正

### 人事院勧告に基づき職員の給与等の引き上げを行う

- ① 令和7年12月に支給する市長等の期末手当を0.025月、市職員の期末手当及び勤勉手当の支給月数を、それぞれ0.025月引き上げる。
- ② 市職員の給料表について所要の引き上げを行う。通勤手当及び宿日直手当を引き上げる。
- ③

施行日 令和7年12月1日

②③については4月1日遡及適用

議案第99号

上野原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

## 条例制定

### 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）の実施に当たり、条例を制定するものです。

議案第103号

上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

## 条例改正

### 林野火災予防の実効性を高めるための火の使用制限

林野火災を防止するため、火災の発生しやすい11月から5月の間、火災に関する警報の発令中における火の使用制限に関する条例改正です。

議案第112号

人権擁護委員候補者の推薦について

## 人事案件

### 人権擁護委員候補者の推薦

令和8年6月30日をもって委員菊池康子氏の任期が満了となるため、その後任委員の候補者を全会一致で適任としました。

人権擁護委員候補者 石井 基晴 氏

## 補正予算

補正総額 4億6322万2千円

### 主な歳出

- 公共施設LED化事業費  
各出張所・蔵ごども園 3千509万5千円
- 秋山複合施設建設事業費  
用地測量・地盤調査業務 1千282万6千円
- 自立支援給付費  
障害福祉サービス費の増加 3千600万円
- 物価高騰対応重点支援事業費  
第2次中企業支援 2千万円
- 東部地域広域水道企業団費 2千360万6千円



秋山支所

## 条例改正

消防団員の定数及び報酬等に関する条例改正

団員定数を820人から760人に、年額報酬を次のとおり改めるものです。なお分団数・部数を10分団45部から9分団30部へ、変更となります。

分団長	6万円
副分団長	5万円
部長	4万円
専任班長	3万6千円
班長	3万3千円
団員	3万円

施行日 令和8年4月1日



◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	結果
96	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決
97	総務	上野原市税条例の一部を改正する条例制定について	
98	産業	上野原市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	
99	—	上野原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	
100	文教	上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
101	厚生	上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	
102	総務	上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について	
103	産業	上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	
104	—	令和7年度上野原市一般会計補正予算（第3号）	
105	—	令和7年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
106	—	令和7年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
107	—	令和7年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
108	—	令和7年度上野原市大目財産区特別会計補正予算（第2号）	
109	—	令和7年度上野原市島田財産区特別会計補正予算（第2号）	
110	—	令和7年度上野原市下水道事業会計補正予算（第2号）	
111	—	令和7年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	
112	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
発議8	—	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。



記

開催日 令和8年3月23日  
 対象 県立上野原高校生  
 場所 県立上野原高校

昨年9月議会で、議会だより編集常任委員会は、広報広聴常任委員会に改編されました。今まで開催されてきた市民と議会との意見交換会は、常任委員会の所管となりました。  
 今年度は、左記のとおり市民と議会との意見交換会を開催する予定です。  
 来年度以降については、その実施形態など検討していきます。

市民と議会との意見交換会

## 会期中の審査

### 総務産業常任委員会

委員長 山口 薫  
副委員長 小俣 崇  
委員 佐藤澄男  
八木一雄  
東山洋昭  
杉本公文  
長田喜巳夫

12月3日、委員会を開催し、付託された条例制定4件について審査を行いました。

議案第97号「上野原市税条例の一部を改正する条例制定について」は、地方税法等の一部改正に伴い、特定親族特別控除の創設及び加熱式たばこの課税方式の見直しを行うものです。

議案第98号「上野原市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、固定資産税の課税免除に関する特例について適用期間を延長するものです。

議案第102号「上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について」は、団員定数を820人から760人に減員し、団員の報酬額を増額するとともに、所要の改正を行うものです。

議案第103号「上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について」は、林野火災

に関する注意報及び同警報の発令中における火の使用の制限についての項目を追加するとともに、所要の改正を行うものです。

以上、条例4件について全会一致で可決すべきものと決定しました。

委員から、市内の耕作放棄地について調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

### 文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一  
副委員長 安留俊介  
委員 清水一明  
内田倫弘  
白鳥純雄  
遠藤美智子  
川田好博

12月3日、委員会を開催し、付託された条例制定3件について審査を行いました。

議案第99号「上野原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について」は、乳児等通園支援事業の実施にあたり、条例を制定するものです。

議案第100号「上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、健康診断の内容が家庭的保育事業等の健康診断の全部又は一部に相当すると認められ、かつ、家庭的保育事業等がその結果を把握したときは、当該健康診断の全部又は一部を行わないことができるよう規定するものです。

議案第101号「上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について」は、保育

所等の職員による虐待に関する通報義務等の創設による引用条項の改正及び、認定地方公共団体の区域に係る地域限定保育士を保育士と同等に扱う規定を整備するものです。

以上、条例3件について全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、委員から、障害者支援について調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

「たき火」も  
消防署へ  
届出が必要  
となります



## 各議員の主な質問項目

【川田 好博 議員】

- 1 暮らしを支援する
- 2 総合経済対策 その他

【安留 俊介 議員】

- 1 ツキノワグマ対策について

【長田喜巳夫 議員】

- 1 魅力的なまちづくりについて
- 2 簡易水道組合について その他

【東山 洋昭 議員】

- 1 「上野原市みらい戦略 2025 - 2030」について
- 2 本庁舎、主要施設の自然災害対策について

【杉本 公文 議員】

- 1 学びの教育環境について
- 2 クマ出没対策について その他

【遠藤美智子 議員】

- 1 障がい者（児）福祉の充実
- 2 物価高騰対策 その他

【山口 薫 議員】

- 1 将来に向けた学校教育のあり方について
- 2 防災対策について その他

【佐藤 澄男 議員】

- 1 富士山噴火の対策について
- 2 市内の自然環境について

【小俣 崇 議員】

- 1 上野原市のみらい戦略について
- 2 地域を挙げて中学部活動存続について

### 中小零細企業 生活困窮者への支援を



川田好博

質問

上野原市の事業所の多くは、中小零細企業に属している。市内の労働者は賃上げの状況は厳しいと思われるが。

答弁

いか。財政状況などを考慮しながら取り組みを進めて行きます。

答弁

年次経済財政報告を勘案すると一般的に賃上げは厳しいと考えられます。

質問

重点支援地方交付金の追加支援がされる。生活保護世帯、住民税非課税世帯のみならず、その上の所得層にも支援が必要ではないか。

質問

中小零細企業への支援が必要ではないか。

答弁

地域の実情に即した物価高対策となるよう各課からの事業提案を庁内で検討を図ったうえでバランスとれた支援をしていきたいと考えています。

質問

「公共調達における価格転嫁の円滑化」についての努力をどのようにされてきたか。

答弁

いくつかの契約で、価格交渉を実施してきました。最近の物価高騰を踏まえて、適切な価格設定について判断を行っていきます。

答弁

学校給食費以外にも負担軽減を図るべきではないか。交付金の活用について、関係各課と協議しています。

質問

会計年度任用職員の待遇改善は確実に低賃金労働者の引き上げにつながる。昇給制度の拡充、退職金の支給などに踏み切るべきではないか。



ツキノワグマ対策

**質問** 本市におけるクマの目撃情報の概要や被害状況は。

**答弁** 11月末現在、14件の目撃情報がありますが、被害についての情報はありません。

**質問** クマ目撃の際の対応は。

**答弁** 時間や場所、特徴などを聞き取り、現地確認と同時に猟友会、学校関係、こども園関係、地元区長へ連絡するとともに、防災無線による注意喚起など対応を行っています。また、12月から、市のライン機能にクマの目撃情報に加え、目撃場所が地図表示される機能を追加しました。

**質問** 緊急銃猟については。

**答弁** 今後、緊急銃猟マニュアルを整備し、猟友会の協力も得ながら対応していきま

**質問** ガバメントハンターの採用については。

**答弁** 今のところ募集は検討していませんが、今後、必要と

**意見**

なった場合は関係各所と協議します。狩猟の専門知識と行政の視点の両方を持つことで、状況を的確に判断し、その場での捕獲や猟友会との連携など、より効果的な対応が可能となるなどのメリットがあり、その人件費については国が支援することなので、今後、検討していただきたい。クマの出没は今後も続き、更にエスカレーターすることも予想されます。市民の暮らしを守るため、用心深く、長期的なタンスで対応していただきたい。



安留 俊介

**質問**

現在の人口減少の中、どのようにして魅力的なまちづくりを構築していくのか、このことが大きなテーマであると同時に問われている。「道の駅」は市町村が申請を行い、国土交通省に登録する制度として平成5年4月にスタートしている。これ以来多くの自治体で設置し今日に至っている。この要因は何か。

**答弁**

地域の観光振興・産業活性化・防災・地域コミュニティの強化といった、多岐にわたる公共的な機能を実現することが目的にあり、駐車場・トイレなどの休憩機能、道路情報や地域情報の発信機能、地域間の交流を促進する地域の連携機能の3つを併せ持った施設であり、自治体が「道の駅」を設置していると考えています。

**質問**

地域住民のための交流施設や防災施設並びに地域創

魅力的なまちづくり

**答弁**

生、地域活性化、地域振興のための拠点施設と考えるが。

**意見**

地域づくりの中心を担っている施設であることから、多くの自治体で設置が進んでいるのが現実である。さらに、「道の駅」は地域住民の地域への愛着や誇りの醸成から、魅力的なまちづくり、移住者、Uターン等の増加に繋がる効果があるため、今回の総合戦略とセットで取り組むことは必然のことと考える。

他に、簡易水道、民生委員、人口減少とまちづくりについて質問しました。



長田 喜巳夫



## 市役所本庁舎等 主要施設の自然災害対策は



東山洋昭

**質問** 今年8月の本庁舎への落雷被害と市民生活への影響は。

は。

**答弁** もみじホール入口自動扉や電話交換機、また防犯カメラ設備等が損傷しましたが、5分程度で復旧しました。市民への大きな影響はなかったものと考えています。

**質問** 今定例会で一千万円強の修理費等が補正予算として提案されています。市が加入している保険ではどこまで補填されるか。

**答弁** 建物本体とこれに付随する設備等が対象です。現在保険会社と連絡・調整中です。

**質問** 市庁舎等のさらなる落雷対応強化のため避雷針設備の再検討は。

**答弁** 避雷針は建物自体や付随設備の被害を最小限に抑えるものです。今回の落雷でも一定の被害の軽減になったものと思います。今後はよ



り効果的な設置場所等の調査の実施を考えています。

**質問** 「総合福祉センターふじみ」には避雷針が設置されていません。この場所は指定避難所で高齢者や障害者、妊産婦等に特に配慮した施設です。ここが落雷で停電した場合を考えると早急に設置する必要があると考えますが。

**答弁** 特に大切な施設と考えています。検討していきます。

他に、ふるさと納税について質問しました。

## 学びの教育環境への取り組みと 物価高支援金の支給内容は



杉本公文

**質問** いじめや不登校の認知件数と、その対応状況は。

と、その対応状況は。

**答弁** 6年度のいじめは、小学校111件、中学校15件で、5年度より小中学校とも減少しています。いじめを認知した時点で各学校の学級担任などが事実確認を行い、また管理職や指導主事、教育委員会とも情報共有を図り、教育相談室にはカウンセラー2名を配置するなど早期の解消に向け丁寧な取り組みを進めています。不登校につきましても、小学校で18名、中学校で20名と、全国の動向と同様に微増の傾向です。対応としては、保護者との関係連絡を切らさず、児童生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートとして、ステップ教室を設け、小中学校で保健室登校など、様々な学びの場の創出に努めています。

**質問** 国は物価高支援交付金として、一世帯当たり1万円、特別加算で一人当たり3千円程を交付するとしていますが、市民への支給をどのように考えていますか。

**答弁** 生活者支援交付金の使用につきましても、国から示された推奨メニューの電子クーポンですが、ポイント付与還元や水道料金の減免なども含め、現在検討しており、時期については1月、または2月上旬までに臨時議会で審議を願いたいと考えています。

**意見** 支給がクーポン等になれば、公平に配布されず、高齢者等に配慮が必要です。

合わせて相談に乗ったり、学習のサポートとして、ステップ教室を設け、小中学校で保健室登校など、様々な学びの場の創出に努めています。



障がい者（児）福祉の充実



遠藤美智子

児童生徒の個性を尊重し  
潜在能力を開発する教育を



山口 薫

質問

来年、本市に障がい者支援施設（仮称）スカイコート上野原」が建設予定ですが着工と開設時期は。

答弁

当初は来年4月の開設予定でしたが半年程度遅れる見込みです。引き続き、早期の開設に向け支援をしていきます。

質問

障がい者の就労支援について取り組みは。

答弁

障害就労施設等からの物品調達の推進等に関する法律に基づき、障がい者の社会参加と経済的な自立を支援するため、現在、市内の障

意見

障がいを持つ方への配慮は障害者差別解消法に基づき合理的配慮が基本となる。今後、親亡き後の問題や親の介護負担の軽減等、障がい者福祉の拡充を期待する。

意見

合理的配慮の提供の義務化により、労働者からの相談に応じる体制づくりも必要です。

他に、物価高騰対策等について質問した。

答弁

障がいの有無にかかわらず誰もが交流できる共生社会の構築の実現へ向けて、オータムフェスタなど、既存のイベントに手話体験コー



質問

「教育は教える相手をいかに観るかが大切で、花も種の中に既に美しい花があることを信じ愛を持って育てることと同じ。又、誰もが持つ個性を引き出すことであり、単なる記憶力の養成や知識の蓄積ではない。私達は他人と比較されるために生まれて来たのではない。自分の花を咲かせるために生まれて来た。」と学芸大及び筑波大教授は言う。自分の良さを「まだ知らないだけ」だと思う。詰め込みから引き出す教育へ、今啐啄の教育が必要と思えますが。

質問

の教育を推進出来るよう支援したいと考えます。

答弁

全員一律から柔軟で個別最適な学びへ、暗記から思考探究的な学びで思考力育成という視点が重要視されています。イエナプラン教育は、次期学習指導要領とも親和性があると思えます。先進事例も参考にしていきたいと思えます。

他に、ジオパーク及び防災関係の質問をしました。

答弁

啐啄は導く側と修行する側の呼吸が合うこと。教育も先生と児童生徒が良好な関係性を築き、適時適切な声かけ等が重要です。児童生徒が求めていることに耳を傾け寄り添う教育に努めて頂きたい。そうした啐啄



親鳥（教える）  
ひな鳥（受ける）  
啐（そく）・啄（たく）のイメージ

## 富士山噴火の対策



佐藤 澄男

**質問** 富士山噴火による市民や広域避難者の避難体制は。

**答弁** 大量の降灰等によりライフラインへの影響や、家屋等に被害が予想される場合は避難所を開設し避難していただくこととなります。また広域避難者の対応については、市民の安全確保を大前提として、受入れが可能な状態であれば旧小中学校体育館等で受入れます。被害状況によっては、避難所に職員配置が出来ず開設ができない場合は。

**質問** 緊急支援物資やボランティア活動の受入れ体制は。

**答弁** 支援物資については被害状況に応じて必要な物資を県に対して要請します。ボランティア活動の受入れについては、上野原市社会福祉協議会がニーズの把握、ボランティアの募集・受付、情報発信などを行います。

他に、市内の自然環境について質問しました。

**質問** 火山灰への対応は。

**答弁** 食料や水、簡易トイレなどの備蓄品同様に、自動において呼吸器や目の保護のためのマスクやゴーグルなど



## 上野原みらい戦略 地域を挙げて中学部活動存続を



小俣 崇

**質問** 人口減少社会における新しい成長戦略は、縮小を賢くデザインする挑戦です。行政、地域、住民が一体となつて取り組むべきテーマです。所見を伺います。

**答弁** 市では、都市部だけでなく中山間地域の集落地も含めた都市の形成を一体的に図る必要があると考え、市の目指すコンパクトなまちづくりを取り組みとしています。

**質問** 公共サービスやインフラを、必要な部分に集約して効率化を図るといふ考え方について伺います。

**答弁** 機能集約に伴い周辺地域の生活の質が低下しないよう、地域コミュニティの維持やデマンド交通の活用等により、周辺部の住民にも必要なサービスが行き届くよう配慮します。

**質問** 運動部は、野球部、サッカー部など現在22部が活動し、文化部は、吹奏楽部及び美術部で4つの部が活動しています。課題は、少子化による生徒数の減少で必要人数を確保できない状況です。

**答弁** 運動部は、野球部、サッカー部など現在22部が活動し、文化部は、吹奏楽部及び美術部で4つの部が活動しています。課題は、少子化による生徒数の減少で必要人数を確保できない状況です。

**質問** 地域クラブへの移行後、新たな負担軽減や支援について、国、山梨県に向けた補助金の要請について伺います。

**答弁** 当初事業費約260万円の内示を受けています。引き続き安定した財源確保が図られるよう、国及び山梨県へ要請して行きます。

**質問** 市内中学校3校の当該年度の部活動の現状と課題について

市内中学校3校の当該年度の部活動の現状と課題について



## 閉会中の委員会活動

### 総務産業常任委員会

委員長 山口 薫  
副委員長 小俣 崇  
委員 佐藤澄男  
八木一雄  
東山洋昭  
杉本公文  
長田喜巳夫

11月10日、閉会中の調査として、南アルプス市を訪問し「避難所の実態」と「ふるさと納税」について視察を行いました。

避難所については、スフィア基準を踏まえ、プライベートルーム1536基の全指定避難所配置、今年度機械式冷風機等を20基整備したとのことでした。

地域防災リーダーは、昨年度末までに570名、今年度48名養成し、自主防災会長の補佐、防災訓練の企画や備蓄品管理等に活躍しているとのことでした。

委員から地区防災計画策定の市の指導に関する質問については、計画の必要性を説明し、計画に必要な条件が備わっているかを確認しているとのことでした。

ふるさと納税は、昨年度約43億円(9万件)で、返礼品は果物が主流で年間を通じて定期便も用意し、業者は123に増

加しているとのことでした。又、ふるさと納税担当者3名と中間事業者1名が常駐する体制をとっており、常に事業者との信頼関係を構築しているそうです。

今回の視察で、避難所の早期充実と、地域防災リーダー等の活躍の場の必要性、ふるさと納税者の安定的確保と、地域の発展に繋げる返礼品の積極的開発の重要性を再認識しました。



調査に訪れた南アルプス市役所

### 文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一  
副委員長 安留俊介  
委員 清水一明  
内田倫弘  
白鳥純雄  
遠藤美智子  
川田好博

11月6日、閉会中の調査として、「市立病院事業報告について」及び「子育て支援策等の検討について」全員協議会室で調査を行いました。

市立病院事業報告の詳細についてでは、人材確保対策、職場環境整備、小児科の充実策について担当課より説明がありました。

委員からは、市立病院事業報告については、働く人の処遇の改善や地域の特性を踏まえた人材不足対策など、さまざまな知恵を絞りながら、一年でも長く、一人でも多く、看護師が確保できるよう安定した経営につながる努力を続けてほしい。また、病院が取り組んでいる総合診療科での研修医の受け入れや地域サロンへの理学療法士や薬剤師の派遣についてもSNSを活用して積極的に発信していただきたい。また、地域に根ざした病院を目指すために、地域住民に好かれる病院づくりが重要であ

り、そのためには、現場の状況や成果を報告していただくことを要望しました。

子育て支援等については、少子化対策の観点から、子育て支援策を子育て保健課だけで完結させるのは難しいため、他課の職員を集めたプロジェクトチームのような横断的な体制が必要だと考えます。今後は、全庁的に取り組むための仕組みを構築していただきたいことを要望しました。



# 市民の声

## ファミサポ始めました



上野原市ファミリー・サポート・センター 援助会員  
瀬高 かえで さん

ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）制度は以前から気になっていて、いつか時間ができたらやってみたいと思っていました。そんな時、広報に子育て支援事業紹介の特集があり、ファミサポ会員さんたちの生の声が載っていました。依頼会員さんの声は、子育てをしていた頃の自分と重なり（もうずいぶん前です）、援助会員さんの声は、今まさに自分が思っていること、そして具体的な活動内容が書かれていました。1時間でもみてもらうと助かる、実家が遠く頼れる人が欲しい、地域の子育てに参加できて嬉しい、とにかく子どもが可愛い、そんな言葉に背中を押され思い切って活動を始めました。短時間でも子どもとのふれあいはとても楽しく、元気と癒しをもらっています。子育てが楽しいと思えるお手伝いができたら嬉しいです。

### 3月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23 天皇誕生日	24	25	26 本会議 (初日) 傍聴可	27 議案調査	28
3/1	2 委員会 総務産業 文教厚生	3 議案調査	4 委員会 予算特別	5 議案調査	6 委員会 予算特別	7
8	9 委員会 予算特別	10 議案調査	11 議案調査	12 本会議 一般質問 傍聴可	13 本会議 一般質問 傍聴可	14
15	16 本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	17 議案調査	18 本会議 (最終日) 傍聴可	19	20 春分の日	21

### 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。  
委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

### 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。  
ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

### 編集後記

今回の「うえのはらで頑張る人」特集はいかがでしたでしょうか？明るい未来の上野原市を築く多くの人材がいることがわかり、議員として心強く感じました。また文武両道の面では学力だけでなく、都留興譲館高校との合同チームで県代表となり西関東大会に出場した吹奏楽部は、学校間の垣根を越えて両校生徒が信頼し合い、心を合わせましたとの生徒の感想は胸を打つものがありました。校訓の「叡智創造」をモットーに夢の実現に向かって、弛まぬ努力と若い力で突き進んで行くことを期待します。これからも上野原高校を応援して行きたいと心より思いました。（東山洋昭）



### 広報広聴常任委員会

- 委員長 遠藤美智子
- 副委員長 川田 好博
- 委員 清水 一明
- 委員 小俣 崇
- 委員 白鳥 純雄
- 委員 東山 洋昭
- 委員 杉本 公文